第 1 日　9 月 24 日（土）　9:00 ～ 10:45

時間	A 会場 A21 果樹 I	B 会場 A36 果樹 II	C 会場 A37 果樹 III	D 会場 B41 野菜 I	E 会場 B33 野菜 II	F 会場 B32 野菜 III
9:00	**育種（カンキツ 1）** **國武久登** 果 001 比較連鎖解析によるカンキツ‘無核紀州’の無核性座乗連鎖群の構造 ○清水徳朗[1]・今井篤[1]・吉岡照高[1]・喜多正幸[1]・塩谷浩[1]・矢野加奈子[1]・大村三男[2]・古藤田信博[1]・遠藤朋子[1]・藤井浩[1]（[1]農研機構果樹研，[2]静岡大農学部）	**育種・バイテク（リンゴ）** **櫻井健二** 果 021 リンゴ品種‘メイポール’の赤葉 / 赤果肉形質に連鎖した果実の早生性を支配する主要な QTL ○森本拓也・伴野潔（信州大農学部）	**ニホンナシ** **田村文男** 果 041 ナシ白紋羽病消毒のための温水点滴処理における土壌硬度と地温保持時間との関係 ○塩田あづさ[1]・金子洋平[1]・鈴木達哉[1]・中村仁[2]（[1]千葉農林総研セ，[2]農研機構果樹研）	**イチゴ 1** **西本登志** 野 001 イチゴの一季成り性 F1 品種を用いたセル成型苗の本圃直接定植に適する苗の特性 ○深尾聡[1]・石川正美[1]・前田ふみ[1]・大泉利勝[1]・八木聡明[2]（[1]千葉農林総研セ，[2]（株）ミヨシ）	**養液栽培等** **大石直記** 野 022 緑色光照射によるオオバの電照栽培技術の研究 ○工藤りか・山本敬司（（株）四国総合研究所）	**メロン育種** **杉山慶太** 野 043 メロンつる割病抵抗性系統の新たな効率的選抜法 ○石川友子・金會澤・宮城慎（茨城農総セ生工研）
9:15	果 002 無核紀州型無核性品種‘サザンイエロー’後代の種子形成と果実形質の関係 ○柳本裕子[1]・古田貴音[1]・金好純子[1]・山崎安津[2]・中野道治[3]・須川瞬[1]・北島宣[3]・塩田勝紀[1]（[1]広島総研農技セ，[2]農研機構果樹研，[3]京都大院農学研究科）	果 022 リンゴ‘ピンクパール’に由来する赤果肉形質の原因遺伝子マッピング ○梅村ひとみ[1]・前島勤[2]・小松宏光[2]・白武勝裕[1]・松本省吾[1]（[1]名古屋大院生命農学研究科，[2]長野果樹試）	果 042 赤色光および遠赤色光の夜間照射がニホンナシ 1 年生苗の新梢伸長および花芽形成に及ぼす影響 ○伊東明子・中島育子・今井剛・森口卓哉（農研機構果樹研）	野 002 イチゴ育苗期の夜冷短日処理と窒素施肥による第 2 花房の花成誘導と花房別収量 ○藤尾拓也・小田島雅・佐々木裕二（岩手農研セ）	野 023 湛液流動水耕において高濃度溶存酸素処理下での生育促進効果が大きいコマツナ品種の蒸散特性 和田瑞紀・小出真衣・○切岩祥和・糠谷明（静岡大農学部）	野 044 省力栽培が可能な短側枝性・単性花性を有するメロン新品種‘フェーリア’の育成とその特性 ○杉山充啓[1]・小原隆由[1]・坂田好輝[2]・吹野伸子[1]・吉岡洋輔[1]・下村晃一郎[1]・小島昭夫[1]・野口裕司[1]（[1]農研機構野菜茶研，[2]農研機構九州沖縄農研）
9:30	果 003 重イオンビーム照射によるウンシュウミカン形態変異個体の果実品質の特徴 ○寺岡毅[1]・神谷健太[1]・澤野郁夫[1]・中嶌輝子[1]・加々美裕[1*]・神尾章子[1**]・浜部直哉[1***]・林依子[2]・龍頭啓充[2]・福西暢尚[2]・阿部知子[2]（[1]静岡農林技研果樹研セ，[*]静岡西部農林，[**]静岡東部農林，[***]静岡賀茂農林，[2]理研仁科セ）	果 023 ソルビトール 6 リン酸脱水素酵素遺伝子の発現を抑制したリンゴ形質転換体を用いた，マイクロアレイによる糖シグナリングの解析 ○鈴木康生[1]・Dandekar Abhaya M.[2]（[1]神戸大院農学研究科，[2]カリフォルニア大デービス校 Plant Sciences 学部）	果 043 光独立栄養培養法により作出されたニホンナシ‘豊水’の果実品質および果実生理障害発生程度 ○大谷義夫[1]・藤井裕二[2]・望月勇志[2]・河岡明義[2]（[1]栃木県経済流通課，[2]日本製紙アグリ・バイオ研）	野 003 イチゴの高設栽培における低コストな局部加温法とその増収効果 ○水上宏二[1]・佐藤公洋[2*]・奥幸一郎[1]・井上恵子[1]（[1]福岡農総試，[*2]南筑後普指セ）	野 024 葉菜類の養液栽培における肥料成分の極量化技術の開発 ○二重作拓郎[1]・坂本一憲[1]・後藤文之[2]・庄子和博[2]（[1]千葉大院園芸学研究科，[2]電中研バイオテクノロジー領域）	野 045 イオンビームを用いた突然変異育種による温室メロン‘静育 1 号’の育成 ○種石始弘[1]・前島慎一郎[1*]・片井秀幸[1**]・大場聖司[1]・山田栄成[1]・大橋弘和[2]・長谷純宏[3]・田中淳[3]（[1]静岡農林研，[2]静岡県温室農協，[3]原子力機構，[*]静岡県産業部みかん園芸課，[**]静岡農林研茶業研セ）
9:45	**育種（カンキツ 2）** **清水徳朗** 果 004 無酸ブンタン後代における早熟性の分離 ○古田貴音・柳本裕子・金好純子・塩田勝紀（広島総研農技セ）	**育種・バイテク（ナシ）** **板井章浩** 果 024 ニホンナシにおける果皮色形質を制御する QTL の検出 ○井上栄一[1]・西井瑞穂[1]・山本俊哉[2]・寺上伸吾[2]（[1]茨城大農学部，[2]農研機構果樹研）	**休眠** **菅谷純子** 果 044 ニホンナシ系統 TH3 と少低温要求性タイワンナシ横山の F1 における自発休眠特性 ○竹村圭弘[1]・黒木克翁[1]・平岡雅広[2]・田村文男[3]（[1]鳥取大院連合農学研究科，[2]鳥取大院農学研究科，[3]鳥取大農学部）	**イチゴ 2** **井上恵子** 野 004 光透過型太陽電池によるイチゴの栽培に関する研究 ○田中孝幸[1]・郡宗一郎[2]・梅下尚己[2]・田中秀樹[2]・木之内均[3]（[1]東海大農学部，[2]東京エレクトロン，[3]木之内農園）	**トマト養液栽培** **川島知子** 野 025 摘果時期の異なるトマト葉部における倍数性の検討 ○杉村麻衣[1]・切岩祥和[1]・八幡昌紀[1]・糠谷綱希[2]・糠谷明[1]（[1]静岡大農学部，[2]（株）大仙）	**育種（ナスなど）** **下村克己** 野 046 ラオスで収集したナスのとげなし性の遺伝解析 ○齊藤猛雄・松永啓・斎藤新（農研機構野菜茶研）
10:00	果 005 ‘ショウグン’マンダリンとグレープフルーツ L-1 から得られた三倍体体細胞雑種の遺伝学的および形態的評価 ○山下真結子[1]・轟貴智[1]・小松春喜[2]・國武久登[1]（[1]宮崎大農学部，[2]東海大農学部）	果 025 レーザーマイクロダイセクションを用いた大果変異セイヨウナシの開花 1 週間前における花床部の次世代シークエンサーを用いた EST 大規模解析 ○奈島賢児[1]・加藤茉莉[1]・高橋宏和[2]・中園幹生[1,2]・五十鈴川寛司[3]・高品善[3]・花田俊男[3]・及川彰[4]・白武勝裕[1]（[1]名古屋大院生命農学研究科，[2]東京大院農学生命科学研究科，[3]山形農総研セ園試，[4]理研植物科学センター）	果 045 ウメ自発休眠芽における *AP2/ERF* 転写制御因子の発現解析 ○佐々木隆太[1]・羽生剛[2]・矢野健太郎[3]・清水徳朗[4]・山根久代[1]・田尾龍太郎[1]・米森敬三[1]（[1]京都大院農学研究科，[2]京都大院農学研究科附属農場，[3]明治大農学部，[4]農研機構果樹研）	野 005 パッシブ地中熱利用システムを活用したイチゴの栽培技術の開発 ○鶴山浄真[1]・日高輝雄[1]・中村賢司[2]・廣林祐一[3]（[1]山口農総技セ，[2]（株）ジオパワー，[3]現下関農林事務所）	野 026 トマトのロックウール栽培におけるロックウールブロックの有無が収量に与える影響 ○多淵知樹・知識秀裕・加島洋亨・吉田征司・上村翔・今村俊規・柴智徳・久枝和昇（日東紡績（株））	野 047 *In vitro* 寄せ接ぎ法によって作成したカラシナ（*Brassica juncea*）と赤キャベツ（*B. oleracea*）の種間キメラの特性 ○岡安浩次[1]・平田豊[2]・福家光敏[1]・二宮伸哉[1]・肖秋濱[1]・大田黎介[3]・及川洋征[2]・山田祐彰[2]・山田哲也[2]・金勝一樹[2]・荻原勲[2]（[1]東京農工大院連合農学研究科，[2]東京農工大院農学研究院，[3]東京農工大院農学府）
10:15		果 026 大果変異セイヨウナシのメタボローム解析（第 3 報）開花前から成熟期までの果実における大果変異系統と原品種の代謝物の差異 ○及川彰[1]・大塚貴生[1]・中林亮[1]・軸丸裕介[1]・山口信次郎[1]・高品善[2]・五十鈴川寛司[2]・村山秀樹[3]・斉藤和季[1,4]・白武勝裕[5]（[1]理研 PSC，[2]山形農総研セ園試，[3]山形大農学部，[4]千葉大院薬学研究院，[5]名古屋大院生命農学研究科）		野 006 イチゴ局所加温用テープヒータの開発と実用化に関する研究（第 2 報）局所加温がイチゴ栽培の収量性に及ぼす影響 鶴山浄真[1]・○日高輝雄[1]・木宮康雄[2]・御旗寛[3]・山田健仁[4]（[1]山口農総技セ，[2]中國工業（株），[3]新立電機（株），[4]徳山高専）	野 027 循環キャピラリー栽培システムを用いた高糖度トマト生産における NO_3-N 供給量変更による成育制御（3）異なる栽植密度下における成育反応 ○大石直記[1]・守谷栄樹[2]（[1]静岡農林研・[2]中部電力（株）エネルギー応用研）	野 048 さび病抵抗性を有する‘ねぎ中間母本農 1 号’の育成とその特性 ○若生忠幸・山下謙一郎・塚崎光・小原隆由・小島昭夫・野口裕司（農研機構野菜茶研）
10:30						

第 1 日　9 月 24 日（土）　9:00 ～ 10:45

G 会場 B24 野菜 IV	H 会場 B12 花き I	I 会場 B11 花き II	J 会場 B21 花き III	K 会場 A32 利用 I	L 会場 A34 利用 II	時間
ネギ類栽培 **山下謙一郎**	**育種 1（シクラメン）** **小野崎隆**	**栽培・作型 1（トルコギキョウ）** **佐藤武義**	**収穫後生理 1** **湯本弘子**	**微生物・抗菌** **泉秀実**	**機能性・加工利用** **瀧川重信**	9:00
野 063 施肥と収穫時期がタマネギの収量および貯蔵性に及ぼす影響 ○西野勝・小林尚司・西口真嗣・小河甲・河井孝文・村上和秀（兵庫農総セ）	花 001 芳香シクラメン（*Cyclamen persicum* × *C. purpurascens*）の半数体へのイオンビーム再照射による倍加半数体の作出 ○近藤恵美子[1]・亀有直子[1]・北村智[2]・秋田祐介[2]・長谷純宏[2]・田中淳[2]・中山真義[3]・谷川奈津[3]・森田裕将[3]・石坂宏[1]（[1]埼玉農総研セ園研,[2]原子力機構,[3]農研機構花き研）	花 027 トルコギキョウ大苗育苗のための適正なセル成型トレイサイズおよび培地窒素濃度の評価. 1. セル苗の生長 ○竹岡賢二・伊藤純樹・福島啓吾（広島総研農技セ）	花 054 デルフィニウム切り花におけるマルトースおよびトレハロースの前処理効果 ○岡本充智[1]・伊藤史朗[1]・廣瀬由紀夫[1]・渡辺久[1]・市村一雄[2]（[1]愛媛農林水産研,[2]農研機構花き研）	利 001 露地ホウレンソウ栽培を想定した大腸菌群の分布傾向 ○甲斐憲郎[1]・塚越芳樹[2]・阿部弘[3]・木嶋伸行[4]（[1]宮崎総農試,[2]食総研,[3]岩手農研セ,[4]農研機構野菜茶研）	利 015 有機肥料によるイチジク葉の栽培と葉茶の試作 ○佐野春奈・松本敏一（島根大生物資源科学部）	
野 064 新たな地下かんがいシステム（FOEAS）を活用したタマネギの平畝栽培. 第 2 報. 水稲栽培後の圃場における栽培実証 ○古橋典子[1]・片山正之[1]・銭本徹[1]・橋本誠[1]・廣林祐一[2]・日高輝雄[1]（[1]山口農総技セ,[2]下関農林事務所）	花 002 紫色の芳香シクラメン‘香りの舞い’（*Cyclamen persicum* × *C. purpurascens*）へのイオンビーム照射によって得られた変異体の色素の解析 近藤恵美子[1]・中山真義[2]・亀有直子[1]・谷川奈津[2]・森田裕将[2]・北村智[3]・秋田祐介[3]・長谷純宏[3]・田中淳[3]・○石坂宏[1]（[1]埼玉農総研セ園研,[2]農研機構花き研,[3]原子力機構）	花 028 トルコギキョウ大苗育苗のための適正なセル成型トレイサイズおよび培地窒素濃度の評価. 2. 定植後の生育および切花形質 福島啓吾・○伊藤純樹・竹岡賢二（広島総研農技セ）	花 055 日持ち保証に対応したバラの後処理について ○本間義之・外岡慎・貫井秀樹（静岡農林研）	利 002 銀ナノ微粒子の抗菌性を利用した切り花の品質保持に関する研究 ○後藤賢子[1]・栗原正人[2]・坂本政臣[2]・村山秀樹[1]（[1]山形大農学部,[2]山形大理学部）	利 016 柿の葉茶のメタボローム解析 ○富田淳美[1]・伊藤聡子[2]・曽我朋義[1]・及川彰[1,3]（[1]慶應大 IAB,[2]山形庄内農技普課産地研,[3]理研 PSC）	9:15
野 065 ニンニク収穫後の「シート乾燥」における乾燥方法が氷点下貯蔵時のりん茎品質に及ぼす影響 ○庭田英子[1]・伊藤篤史[1]・八谷満[2]・山崎博子[3]（[1]青森産技野菜研,[2]農研機構生研セ,[3]農研機構東北農研）	花 003 紫色の芳香シクラメン‘孤高の香り’（*Cyclamen persicum* × *C. purpurascens*）へのイオンビーム照射によって得られた白色変異体の香気成分の分析 ○亀有直子[1]・大久保直美[2]・近藤恵美子[1]・中山真義[2]・秋田祐介[3]・長谷純宏[3]・谷川奈津[2]・森田裕将[2]・田中淳[3]・石坂宏[1]（[1]埼玉農総研セ園研,[2]農研機構花き研,[3]原子力機構）	花 029 トルコギキョウ花蕾プラスチングの解剖学的解析 ○川勝恭子・牛尾亜由子・福田直子（農研機構花き研）	花 056 黄色ユリ花弁の老化に伴う花色変化と観賞価値 ○望月寛子[1]・岸本早苗[1]・和田有史[2]・増田知尋[2]・市村一雄[1]（[1]農研機構花き研,[2]農研機構食総研）	利 003 オゾンマイクロバブルの水耕栽培への応用. キレート剤を添加した培養液の殺菌およびレタスの生育に及ぼす影響 ○後藤知大・髙橋秀彰・山田将史・玉置雅彦（明治大農学部）	利 017 栽培温度がサツマイモ葉身ポリフェノール含量に与える影響 ○小林透・倉田理恵・甲斐由美（農研機構九州沖縄農研）	9:30
ホウレンソウ他 **佐藤文生**	**育種 2（遺伝子解析）** **國分　尚**	花 030 冬春季に出荷するトルコギキョウ‘ボレロホワイト’の開花と切り花の形質に及ぼす長日処理の終了時期の影響 ○福島啓吾・梶原真二・石倉聡・原田秀人（広島総研農技セ）	**収穫後生理 2** **山田哲也**	**栽培** **濱本　浩**	利 018 大和マナの異なる生育時期, 大きさ, 部位および品種におけるイソチオシアネートとグルコシノレートの含有量の変動 ○松本哲史・西本登志・浅尾浩史（奈良農総セ）	9:45
野 066 ハウス栽培ホウレンソウの夏期作の生育を改善する作付体系 ○森山真久（農研機構東北農研）	花 004 ツツジ属植物の遺伝資源の活用に関する研究（第 32 報）離弁花冠を有するヤマツツジ系園芸品種の形態およびホメオティック遺伝子の解析 ○田崎啓介[1]・中務明[2]・小林伸雄[2]（[1]鳥取大院連合農学研究科,[2]島根大生物資源科）		花 057 スイートピー切り花におけるスクロース処理による ACC 合成酵素と ACC 酸化酵素遺伝子発現の変動 ○市村一雄・仁木朋子・湯本弘子（農研機構花き研）	利 004 竹炭たい肥の有効利用研究成果（第 2 報）トウガラシ, アズキ等への施用効果 ○渡辺郁夫[1]・原昌久[1]（[1]関西電力(株)電力研環境）		
野 067 アイスプラント（*Mesembryanthemum crystallinum*）の異なる栽培・生育条件下における機能性成分の蓄積傾向 ○高橋大喜[1]・松本裕史[2]・中松建[1]・佐藤公香[1]・西原英治[3]（[1]鳥取大院農学研究科,[2]鳥取大院連合農学研究科,[3]鳥取大農学部）	花 005 ツツジ属植物の遺伝資源の活用に関する研究（第 33 報）常緑性ツツジの花冠における色素構成と色素合成関連遺伝子の発現 ○中務明[1]・都間三鶴[1]・水田大輝[2]・小林伸雄[1]（[1]島根大生物資源科学部,[2]島根大総合科学研究支援センター）	**栽培・作型 2** **福田直子** 花 031 トルコギキョウの秋出し栽培における短日処理期間中の夜間冷房が生育, 開花に及ぼす影響 ○佐藤武義[1]・酒井友幸[1]・野口信也[1]・永峯淳一[2]・伊藤政憲[1]（[1]山形農総研セ園試,[2]山形県庁）	花 058 スイートピーにおける花弁老化時のエチレン生合成遺伝子発現の変化と雄ずいの役割 ○湯本弘子[1]・仁木朋子[1]・曽我綾香[2]・市村一雄[1]（[1]農研機構花き研,[2]神奈川農技セ）	利 005 模擬油汚染土壌における花弁の浄化効果 ○川崎勇[1]・玉置雅彦[2]・海見悦子[3]（[1]明治大院農学研究科,[2]明治大農学部,[3]中外テクノス（株））	利 019 シャインマスカットを用いたワインの特徴 ○永井里佳[1]・秋廣高志[1]・樋野学[2]・藤原和彦[2]・木村英人[3]・小川智史[3]・横田一成[1]・松本敏一[1]（[1]島根大生物資源科学部,[2]（株）島根ワイナリー,[3](株)寿製菓）	10:00
野 068 トウキ（*Angelica acutiloba* Kitagawa）の開花結実および実生の生育に及ぼす花序位置の影響 ○新藤聡・松原紀嘉・渡辺均・池上文雄・古在豊樹（千葉大環境健康フィールド科セ）	花 006 栽培バラに四季咲き性をもたらしたトランスポゾン：バラゲノム内のコピー数と分布 ○河村耕史[1,2,3]・岩田光[2]・山田邦夫[3,4]・松本省吾[3]・福井博一[5]・JEAUFFRE. Julien[2]・THOURROUDE, Tatiana[2]・HIBRAND-SAINT OYANT, Laurence[2]・FOUCHER, Fabrice[2]（[1]大阪工大,[2]GenHort/INRA,[3]名大院生命農学,[4]中部大応用生物,[5]岐阜大応用生物）	花 032 バラ施設栽培における個葉光合成速度による炭酸ガス施用効果の評価 ○熊崎忠[1]・山内高弘[2]・杉山千織[2]・三枝正彦[1]（[1]豊橋技科大,[2]愛知農林水産事務所）	花 059 ベチュニア花弁における受粉によるオートファジーの誘導 ○渋谷健市・市村一雄（農研機構花き研）	利 006 園芸施設におけるドライミスト技術の応用に関する研究. 施設内の熱環境改善効果についての検討 ○原田昌幸[1]・坪内亮子[1]・杉山剛[2]（[1]名古屋市大,[2]なごミスト設計有限会社）		10:15
		花 033 バラの株元加温における循環水温が冬期の生産性および切り花品質等に及ぼす影響 ○原靖英[1]・柳下良美[1]・渡辺茂[1]・深山陽子[1]・小泉明嗣[1]・腰岡政二[2]・窪田聡[2]・畔柳武司[3]・馬場勝[4]・山元恭介[1]（[1]神奈川農技セ,[2]日本大生物資源科学部,[3]農研機構近中四農研,[4]ネポン（株））				10:30

第 2 日　9 月 25 日（日）　9:00 ～ 10:30

時間	A 会場 A21 果樹 I	B 会場 A36 果樹 II	C 会場 A37 果樹 III	D 会場 B41 野菜 I	E 会場 B33 野菜 II	F 会場 B32 野菜 III
9:00	**不和合性 1** **平塚　伸** 果 006 ニホンナシ花柱組織の発育に伴う微細構造の変化 ○岡村彩葉・柏木由夏・李 リ怡・朴杓允・安田（高崎）剛志（神戸大院農学研究科）	**モモ** **別府賢治** 果 027 育種・栽培化に伴うモモの *S* locus の進化 ○赤木剛士[1,2]・花田俊男[2,3]・八重垣英明[4]・山口正巳[5]・田尾龍太郎[2]（[1]京都大次世代研究者育成センター,[2]京都大院農学研究科,[3]山形農総セ園試,[4]農研機構果樹研,[5]東京農業大）	**カンキツ等 1** **向井啓雄** 果 046 キウイフルーツにおける散水氷結法が芽の温度に及ぼす影響 ○宮田信輝[1]・安部伸一郎[1]・井門健太[1]・矢野隆[1]・星典宏[2]・根角博久[2]（[1]愛媛果樹セ,[2]農研機構近中四農研）	**イチゴ 3** **山崎　篤** 野 007 培養液の施用濃度と摘果が‘女峰’の生育・収量と果実品質に及ぼす影響 ○稲角大地・吉田裕一（岡山大院自然科学研究科）	**トマト栽培 1** **田中哲司** 野 028 トマトの促成栽培における冬季の昼温の違いが網入り果の発生に及ぼす影響 ○龍勝利・井手治・國武みどり[*]・小熊光輝（福岡農総試,[*]福岡県経営技術支援課）	**ネギ類育種** **福岡浩之** 野 049 タマネギ S 型雄性不稔細胞質に対する稔性回復遺伝子座の詳細マッピングに適した倍加半数体由来分離集団における DNA マーカー解析 ○岩田智志・中島徹也・山内直樹・執行正義（山口大農学部）
9:15	果 007 ニホンナシの柱頭浸出液中にも S-RNase が含まれている ○木村穣[1]・太田文清[1]・石水毅[2]・安田（高崎）剛志[1]（[1]神戸大院農学研究科,[2]大阪大院理学研究科）	果 028 Amplitude Domain Reflectometry 法によるモモの幹含水量の測定 ○杉浦裕義・末貞佑子・阪本大輔・杉浦俊彦・朝倉利員・森口卓哉（農研機構果樹研）	果 047 年平均気温および年最低気温の変化推定によるタンカン適地の北上予測 ○杉浦俊彦・杉浦裕義・阪本大輔・朝倉利員（農研機構果樹研）	野 008 発表取り消し	野 029 トマトのつやなし果発生に及ぼす着果促進剤の濃度ならびに処理方法の影響 ○菱田美紀・寺林敏・伊達修一（京都府大院生命環境科学研究科）	野 050 *Allium cepa* と *A. roylei*（提供親）間の異質細胞質雄性不稔系統と単一異種染色体添加系統の GISH 解析 ○ Vu Quynh Hoa[1]・山内直樹[2]・執行正義[2]（[1]鳥取大院連合農学科,[2]山口大農学部）
9:30	果 008 ニホンナシにおける不和合花粉の発芽伸長は和合花粉に比べ遅延する ○山下翔人・安田（高崎）剛志（神戸大院農学研究科）	果 029 モモ‘白鳳’の収穫前落果と果梗離脱果の特徴および果梗部の形態的異常 ○福田文夫・山田正隼・久保田尚浩（岡山大院自然科学研究科）	果 048 ウンシュウミカン‘ゆら早生’の摘果と果実の品質 平岡美和[1]・○冨田栄一[2]・土井開[3]・阪田守[3]（[1]JA 和歌山県農,[2]前 JA 和歌山県農,[3]JA 紀州中央）	野 009 加工用と生食用イチゴ品種の香り比較 ○南場芳恵・三好幸恵・李新賢（アヲハタ（株）フルーツ加工研）	野 030 中玉トマト果実の Ca 濃度と尻腐れ果発生に及ぼす培養液中の K/Ca 比の影響 ○大山光男・吉田裕一（岡山大院自然科学研究科）	野 051 倍数性ならびにネギ属由来 SSR マーカーによるラッキョウの系統識別 ○大津真士[1]・塚崎光[2]・山下謙一郎[2]・若生忠幸[2]・前田英博[1]（[1]鳥取農林総研園試,[2]農研機構野菜茶研）
9:45	果 009 セイヨウナシ数品種からの新規 Sx-RNase のクローニング ○野村直希[1]・田中（守谷）友紀[1*]・安田（高崎）剛志[1]（[1]神戸大院農学研究科,[*]農研機構果樹研）	果 030 複針付傷接種法によるモモのせん孔細菌病菌（*Xanthomonas campestris* pv. *pruni*）抵抗性の品種間差異 ○末貞佑子・山根崇嘉・安達栄介[*]・山口正己[**]・八重垣英明・山田昌彦（農研機構果樹研,[*]山形農総研セ園試,[**]東京農業大農学部）	果 049 ウンシュウミカン‘ゆら早生’の水分管理と果実の品質 ○平岡美和[1]・冨田栄一[2]・土井開[3]・竹中義樹[4]（[1]JA 和歌山県農,[2]前 JA 和歌山県農,[3]JA 紀州中央,[4]JA ありだ）	野 010 ‘サマーティアラ’果実の着色段階と糖類および酸含有量のメタボローム解析 ○伊藤聡子[1]，上田七瀬[1]，富田淳美[2]，村山秀樹[3]，及川彰[2,4]（[1]山形庄内農技普課産地研,[2]慶應大 IAB,[3]山形大農,[4]理研 PSC）	野 031 緑肥体系におけるヘアリーベッチ由来窒素のトマトへの寄与率 ○杉原雄一[1]・荒木肇[2]・上野秀人[3]（[1]北海道大院環境科学院,[2]北海道大北方生物圏セ,[3]愛媛大農学部）	野 052 ネギの辛味に関する選抜マーカーの開発 ○塚崎光[1]・谷口成紀[1]・山下謙一郎[1]・小島昭夫[1]・執行正義[2]・若生忠幸[1]（[1]農研機構野菜茶研,[2]山口大農学部）
10:00	**不和合性 2** **安田（高崎）剛志** 果 010 ニホンナシの自家不和合性に関する研究（第 57 報）不和合性の強さを制御する花粉要因の証明 ○平塚伸[1]・藤村誠[1]・西川豊[2]・名田和義[1]（[1]三重大院生物資源学研究科,[2]三重農研）	**ウメ 1** **柴田健一郎** 果 031 4 種類の土壌における施肥窒素のウメ‘南高’樹体への吸収および溶脱特性 ○土田靖久[1]・下田星児[2]・吉原利一[3]・後藤文之[3]・城村徳明[1]・岡室美絵子[1]・中西慶[1]（[1]和歌山農総技セ果樹試うめ研,[2]農研機構近中四農研,[3]電中研）	**カンキツ 2** **河合義隆** 果 050 不知火における自根の簡易判別法 ○上村浩憲[1]・中村伸治[2]・榊英雄[3]（[1]熊本県八代地域振興局,[2]熊本県葦北郡芦北町,[3]熊本農研セ果樹）	**イチゴ 4** **曽根一純** 野 011 イチゴ苞培養に適する小胞子発育段階の検討および培地への添加物（エチレン生成阻害剤，二次代謝産物吸着剤）がイチゴ苞培養に及ぼす影響 ○澤田倫平[1]・松田靖[2]・飯牟禮和彦[1]・村田達郎[2]（[1]熊本農研セ,[2]東海大農学部）	**トマト栽培 2** **岩崎泰永** 野 032 高圧細霧冷房による定値気温制御がトマトの生育に及ぼす影響 ○石井雅久・森山英樹・奥島里美（農研機構農工研）	**マーカー** **執行正義** 野 053 キュウリのズッキーニ黄斑モザイクウイルス抵抗性遺伝子のマッピング ○天野政史[1]・河越優実[2]・岩堀圭佐[2]・丹羽香織[2]・前田孚憲[2]・井村喜之[2]（[1]（株）埼玉原種育成会,[2]日本大生物資源学部）
10:15	果 011 ニホンナシの自家不和合性に関する研究（第 58 報）重金属塩処理による‘幸水’の無受粉・無摘果栽培に向けた数種の試み ○林田大志・前川豊孝・名田和義・平塚伸（三重大院生物資源学研究科）	果 032 ウメ‘南高’摘心処理樹における摘葉処理後の日照条件が紅着色果実の生産性に及ぼす影響 ○竹中正好・根来圭一・大江孝明・三宅英伸[*]（和歌山農総技セ果樹試うめ研,[*]和歌山工技セ）	果 051 カンキツ栽培における点滴かん水管理のための新たなアルゴリズム ○星典宏・植山秀紀・井上久義・島崎昌彦・國賀武・齋藤仁蔵・根角博久（農研機構近中四農研）	野 012 イチゴ‘アスカルビー’および‘古都華’の光合成速度に及ぼす二酸化炭素濃度，光合成有効光量子束密度，相対湿度および葉位の影響	野 033 Effects of supplemental lighting with different light qualities from light emitting diodes（LED）lamps on yield and quality of single-truss tomato grown under high density ○魯娜・丸尾達・浮閑正史・塚越覚・北条雅章・篠原温（千葉大院園芸学研究科）	野 054 国内のトマト F_1 品種を用いた高密度 SNPs タイピングチップの評価 ○福岡浩之[1]・白澤健太[2]・岩田洋佳[3]・大山暁男[1]・松永啓[1]・根来里美[1]・布目司[1]・山口博隆[1]・宮武宏治[1]（[1]農研機構野菜茶研,[2]かずさ DNA 研,[3]東京大院農学生命科学研究科）

第 2 日　9 月 25 日（日）　9:00 ～ 10:30

G 会場 B24 野菜 IV	H 会場 B12 花き I	I 会場 B11 花き II	J 会場 B21 花き III	K 会場 A32 利用 I	L 会場 A34 利用 II	時間
キュウリ **山根信三**	**育種 3（マーガレット）** **中村　薫**	**開花生理 1（キク）** **島　浩二**	**色 1** **高村武二郎**	**非破壊評価・品質評価** **吉田　誠**	**収穫後生理 1** **今堀義洋**	9:00
野 069 低濃度エタノールを用いた黒ボク土におけるキュウリ栽培に適した土壌消毒法の開発 大木浩・○佐藤侑美佳・横山とも子・武田藍（千葉農林総研セ）	花 007 マーガレットとハナワギクの属間雑種‘風恋香’の香気成分に及ぼす放射線照射と花弁への接触の影響 稲葉善太郎[1]・○松田健太郎[1]・馬場富二夫[1]・山際豊[1]・岩崎勇次郎[2]・大久保直美[3]（[1] 静岡農林研伊豆農研セ，[2] 静岡農林研，[3] 農研機構花き研）	花 034 暗期中断によるキクの花成および *FT* 様遺伝子発現抑制における分光感度 ○住友克彦[1]・樋口洋平[1]・小田篤[1]・宮前治加[1*]・山田真[2]・石渡正紀[2]・久松完[1]（[1] 農研機構花き研，[2] パナソニック電工（株），和歌山農総技セ農試）	花 060 市販ペチュニア品種のアントシアニン合成系の解析―黄花の成因― ○松原紀嘉[1]・佐々木秀典[2]・渡辺均[1]・國分尚[1]・安藤敏夫[2]（[1] 千葉大環境健康フィールド科セ，[2] 千葉大院園芸学研究科）	利 007 弾性指標を用いたアボカドの原産地別・サイズ別の食べ頃予測 ○秋元秀美[1]・櫻井直樹[2]・岩谷真一郎[2]・Hu Chen[2]・高橋昌之[3]（[1] 広島大産学地域連携セ，[2] 広島大院生物圏科学研究科，[3]（株）フレッシュシステム）	利 020 カンキツ培養砂じょうにおけるアスコルビン酸およびカロテノイド関連遺伝子の発現に及ぼす光照射の影響 ○荻野智洋[1]・菅陽香[1]・馬剛[1]・張嵐翠[1]・加藤雅也[1]・山脇和樹[1]・切岩祥和[1]・高木敏彦[1]・松本光[2]・生駒吉識[2]・根角博久[3]・吉岡照高[2]（[1] 静岡大農学部，[2] 農研機構果樹研，[3] 農研機構近中四農研）	
野 070 砂地土壌での低濃度エタノールの処理方法がキュウリのネコブセンチュウ防除効果に及ぼす影響 ○吉田俊郎・中村靖弘・小林理・横山とも子・武田藍・鈴木達哉・大木浩（千葉農林総研セ）	花 008 マーガレット既存品種における雑種性の確認 ○岩崎勇次郎[1]・勝岡弘幸[1]・石井香奈子[2*]・松田健太郎[2]・稲葉善太郎[2]（[1] 静岡農林研，[2] 静岡農林研伊豆農研セ，[*] 静岡農林研果樹研セ）	花 035 LED 照明の光質と電照方法の違いがスプレーギクの生育および開花に及ぼす影響 ○山内高弘[1]・熊崎忠[2]・杉山千織[1]・菅谷和巳[3]・三枝正彦[2]（[1] 愛知農林水産事務所，[2] 豊橋技科大，[3] カンコーポレーション（株））	花 061 ジャカランダ（*Jacaranda mimosifolia*）花弁の青紫色発色機構 ○梶原ゆき[1]・宮島郁夫[2]・大久保敬[3]・中山真義[4]・Soto Silvina[5]・小林伸雄[6]（[1] 九州大院生物資源環境科学府，[2] 九州大熱研セ，[3] 九州大院農学研究院，[4] 農研機構花き研，[5] アルゼンチン農牧技術院花卉研，[6] 島根大生物資源科学部）	利 008 携帯型振動硬度計を用いたプルーン果実品質の非破壊測定 ○大畑和也[1]・櫻井直樹[2]（[1] 島根農技セ，[2] 広島大院生物圏）	利 021 ウンシュウミカン果実におけるカロテノイド集積に及ぼす LED による光照射の影響 ○田中秀和[1]・張嵐翠[1]・馬剛[1]・荻野智洋[1]・松田あさみ[1]・木暮瑛[1]・高木秀明[1]・加藤雅也[1]・山脇和樹[1]・切岩祥和[1]・松本光[2]・生駒吉識[2]（[1] 静岡大学農学部，[2] 農研機構果樹研）	9:15
野 071 リン酸蓄積ほ場における減肥が施設キュウリの収量・品質に及ぼす影響 ○鵜生川雅己[1]・高坂真一郎[1]・小柴守[1*]・金澤健二[2]（[1] 群馬農技セ，[2] 農研機構中央農総研，[*] 群馬環境保全課）	花 009 マーガレットとハナワギクの交配による鉢物向け属間雑種の育成 ○稲葉善太郎[1]・石井香奈子[1*]（[1] 静岡農林研伊豆農研セ，[*] 静岡農林研果樹研セ）	花 036 同期または非同期させた黄色 LED ランプによるパルス照明が秋ギクの発蕾，開花および形質に及ぼす影響 ○石倉聡[1]・山下真一[1]・梶原真二[1]・平間淳司[2]・野村昌史[3]・後藤丹十郎[4]（[1] 広島総研農技セ，[2] 金沢工大工学部，[3] 千葉大院園芸学研究科，[4] 岡山大院自然科学研究科）	花 062 セントポーリア花弁の縞模様の形成に関わる表皮細胞の並層分裂 細川宗孝・○大西美輝・後藤真理子・佐藤充・土井元章（京都大院農学研究科）	利 009 音響振動法によるカキ‘太秋’の食感評価 ○鈴木哲也[1]・新川猛[1]・櫻井直樹[2]（[1] 岐阜農技セ，[2] 広島大院生物圏科学研究科）	利 022 カンキツ培養砂じょうにおけるアスコルビン酸代謝に及ぼす青色 LED による光照射の影響 ○菅陽香[1]・荻野智洋[1]・馬剛[1]・張嵐翠[1]・加藤雅也[1]・山脇和樹[1]・切岩祥和[1]・高木敏彦[1]・松本光[2]・生駒吉識[2]・根角博久[3]・吉岡照高[2]（[1] 静岡大農学部，[2] 農研機構果樹研，[3] 農研機構近中四農研）	9:30
野 072 福島県内土壌で栽培したキュウリにおける放射性セシウムの移行係数 ○小林智之[1]・村松康行[2]・大野剛[2]・常盤秀夫[3]・二階堂英行[1*]・加藤義明[1]（[1] 福島農総セ，[2] 学習院大理学部，[3] 福島農総セ浜研，[*] 福島県農林水産部）	**育種 4** **田淵俊人** 花 010 *Lathyrus gloeospermus* Warb. & Eig. の開放花とその特性 ○中村薫・郡司定雄（宮崎総農試）	花 037 黄色 LED の終夜パルス照明への PWM 制御付加が小ギクの開花および形質に及ぼす影響 ○東浦優[1]・山中正仁[2]・二井清友[1]・石上佳次[1]・石倉聡[3]・平間淳司[4]・野村昌史[5]（[1] 兵庫農総セ淡路，[2] 兵庫農総セ農技，[3] 広島総研農技セ，[4] 金沢工大工学部，[5] 千葉大院園芸学研究科）	**色 2** **中山真義** 花 063 シュンギク花弁の覆輪形成にはカロテノイド酸化開裂酵素遺伝子 *CCD4* が関与している ○岸本早苗・大宮あけみ（農研機構花き研）	利 010 可視光及び近赤外光を利用したブラッドオレンジ果肉に含まれるアントシアニン含量の非破壊計測の可能性 ○伊藤史朗[1]・井上久雄[2]・菊地毅洋[2]・越智洋之[2]・伊藤秀和[3]（[1] 愛媛農水研，[2] 愛媛みかん研，[3] 野茶研）	利 023 青ユズ果実における貯蔵中のクロロフィル分解に及ぼす静電霧化微粒子水の影響 ○高村孝太郎[1]・芳賀涼子[1]・執行正義[1]・山内直樹[1]・前川哲也[2]・桝田幸広[2]・山内俊幸[2]・大谷隆児[2]（[1] 山口大農学部，[2] パナソニック電工（株））	9:45
メロン **杉山充啓**	花 011 放射線を利用した切り花用オオムギの形質改善の試み ○山際豊[1]・石井香奈子[1*]・石井ちか子[1**]・馬場富二夫[1]・稲葉善太郎[1]（[1] 静岡県農林研伊豆研セ，[*] 静岡農林研果樹研セ，[**] 静岡県東部農林事務所）	**開花生理 2** **住友克彦** 花 038 春夏季における異なる光質による光照射がケイトウの生育および開花に及ぼす影響 ○工藤則子[1]・佐藤貴裕[2]・鈴木勝治[3]・佐藤武義[4]・山田真[5]・石渡正紀[5]・久松完[6]（[1] 山形置賜総支産研，[2] 山形村山総支農技普課，[3] 山形置賜総支農技普課，[4] 山形農総研セ園試，[5] パナソニック電工（株），[6] 農研機構花き研）	花 064 シクラメンにおける青色花発現機構 ○高村武二郎[1]・水岡大和[1]・鹿毛哲郎[2]（[1] 香川大農学部，[2] 鹿毛真耕園）	**マーケティング・** **園芸活動** **位田晴久** 利 011 夏秋どり四季成り性イチゴの生食需要の方向性 ○田口多喜子・篠田光江（秋田農技セ農試）	利 024 収穫後ブロッコリー花蕾のクロロフィル分解におけるクロロプラストペルオキシダーゼの関与と UV-B 処理によるその制御 ○イアムラオ スカンヤ[1]・執行正義[2]・伊藤真一[2]・山内直樹[2]（[1] 鳥取大院連合農学研究科，[2] 山口大農学部）	10:00
野 074 「防根給水ひも」による果菜類の養水分需給バランス栽培法の開発（第 17 報）盛夏期におけるメロン砂栽培の可能性 ○川原雅規・桝田正治（岡山大院自然科学研究科）	花 012 カーネーション，カワラナデシコ種間雑種および戻し交雑系統の開花の早晩性と日長反応性 ○小野崎隆・八木雅史・棚瀬幸司[*]（農研機構花き研，[*] 農研機構本部）	花 039 LED 照明の時間帯および期間が観葉植物の生育に及ぼす影響 ○新井聡・大石一史（愛知農総試）	花 065 ユリ（*Lilium*）花被片に認められる 2 種類の斑点について ○山岸真澄[1]・赤木航一[2]（[1] 北海道大院農学研究院，[2] 北海道大農学部）	利 012 横浜，川崎市の駅周辺の青果店舗における長ネギの販売状況 ○鈴木美穂子・稲毛正彦・佐藤忠恭・曽我綾香（神奈川農技セ）	**収穫後生理 2** **加藤雅也** 利 025 貯蔵中の中晩柑果実におけるエチレン生成およびエチレン感受性の品種間差異の解明 ○兼常康彦[1]・岡崎芳夫[2]・藤本敬嵐[1]・棟居信一[1]（[1] 山口農林総技セ，[2] 山口県柳井農林）	10:15

第 2 日　9 月 25 日（日）　10:30 ～ 12:00

時間	A 会場 A21 果樹 I	B 会場 A36 果樹 II	C 会場 A37 果樹 III	D 会場 B41 野菜 I	E 会場 B33 野菜 II	F 会場 B32 野菜 III
10:30	果 012 カンカオウトウにおける S-RNase 結合花粉タンパク質候補としてのアクチンホモログの単離 ○松本大生・田尾龍太郎（京都大院農学研究科）	果 033 連作土に対する土壌消毒および活性炭混和がウメ幼木の生育に及ぼす影響 ○大江孝明[1]・橋本千賀子[2]・西原英治[3]・和中学[4]（[1]和歌山農総技セ果樹試うめ研,[2]和歌山農総技セ林試,[3]鳥取大農学部,[4]和歌山農総技セ果樹試かき・もも研）	果 052 ‘はるみ’における着果と樹体栄養の推移 ○武藤浩志・末松信彦（静岡農林研伊豆農研セ）	野 013 イチゴ‘さがほのか’‘大分 3 号’の果実成熟積算温度 ○佐藤如・安部貞昭・戸井田雄一・吉田佳子（大分農林水産研セ）	野 034 クロロフィル蛍光シーリング法を用いたトマトの光合成活性評価法の開発と応用 ○北出晋太郎[1]・名田和義[1]・礒崎真英[2]・近藤宏哉[2]・増田実[2]・亀岡孝治[1]・村上克介[1]・橋本篤[1]・平塚伸[1]（[1]三重大院生物資源学研究科,[2]三重農研）	野 055 Capsicum annuum の高密度連鎖地図の作成と統合および線虫抵抗性の QTL 解析 ○前畑祐喜[1]・杉田亘[1]・大山暁男[2]・長田龍太郎[1]（[1]宮崎総農試,[2]農研機構野菜茶研）
10:45	**カキ** **板村　裕之**	**ウメ等 2** **福田 文夫**	**カンキツ 3** **國賀　武**	野 014 イチゴ‘あまおう’における定植後の寒冷紗被覆とかん水量が生育，開花期及び収量に及ぼす影響 ○井上恵子[1]・佐藤公洋[2]・水上宏二[1]・奥幸一郎[1]（[1]福岡農総試,[2]南筑後普及指導センター）	野 035 オーキシンの輸送を担う ABC 輸送体と TWD のトマト果実における機能 ○曽根一友[1]・鈴木真実[1]・Geisler Markus[2]・金山喜則[3]・柴田大輔[4]・青木考[5]・松本省吾[1]・白武勝裕[1]（[1]名古屋大院生命農学研究科,[2]Department of Biology University of Fribourg,[3]東北大院農学研究科,[4]かずさ DNA 研,[5]大阪府大院生命環境科学研究科）	**ピーマン栽培** **松永　啓**
	果 013 カキわい性中間台木が‘富有’の初期成長および光合成速度に及ぼす影響 ○石村修司[1]・本勝千歳[1]・千々和浩幸[2]・鉄村琢哉[1]（[1]宮崎大農学部,[2]福岡農総試）	果 034 ウメ‘南高’果実への UV 照射が紅色着色および品質成分に及ぼす影響 ○根来圭一・大江孝明（和歌山農総技セ果樹試うめ研）	果 053 硬い果皮を有するウンシュウミカン果実の特性 ○向井啓雄・服部憲明・阿部兼太郎・深井慎一・八幡昌紀・原田久・高木敏彦（静岡大農学部）			野 056 Evaluation of materials for breeding new rootstock cultivars resistant to root-knot nematodes（Meloidogyne spp.）which inhabit green pepper production region in Kagoshima Prefecture. ○竹之下佳久[1]・大江正和[1*]・杉田亘[2]（[1]鹿児島農総セバイオ研,[2]宮崎総農試,[*]鹿児島農総セ農加研）
11:00	果 014 九倍体系統から得られた花粉の受粉がカキ‘富有’の結実ならびに果実品質に及ぼす影響 ○千々和浩幸[1]・谷川宏之[2]・朝隈英昭[1]・石坂晃[1]・田尾龍太郎[3]（[1]福岡農総試,[2]朝倉普及指導セ,[3]京都大）	果 035 ウメ低樹高ジョイント仕立て 4 年生樹の収量，果実品質と収穫作業効率 ○柴田健一郎・曽根田友暁・関達哉・小林正伸（神奈川農技セ）	果 054 カワラヨモギ抽出物含有製剤処理と MA 包装の組合せが‘清見’の長期貯蔵に及ぼす効果 ○井上久雄[1]・越智洋之[1]・大嶋悟士[2]・熱田博之[2]・菊地毅洋[1]・三好孝典[3]・田中敦[4]・中尾悟[4]（[1]愛媛農研果樹研セみかん研,[2]阪本薬品工業（株）,[3]愛媛東予局,[4]住友ベークライト（株））	**イチゴ 5** **野口裕司** 野 015 イチゴ極早生系統の花芽分化遅延制御 ○井狩徹・竹内隆・河田智明・池ヶ谷篤（静岡農林研）	**アブラナ科栽培 1** **岡田邦彦** 野 036 水耕栽培エゾワサビ葉の抗酸化化合物およびグルコシノレート含量に及ぼす光質の影響 ○阿部圭馬[1]・木戸重範[1]・嘉見大助[2]・鈴木卓[1]・鈴木正彦[1]（[1]北海道大院農,[2]農研機構北海道農研）	野 057 ピーマン接ぎ木栽培に関する研究（第 6 報）栽培初期のかん水量が生育，収量に及ぼす影響 ○壹岐怜子・力武弘・黒木利美・白木己歳（宮崎総農試）
11:15	果 015 施肥量ならびにエチレン処理がカキ‘太秋’の雌花着生に及ぼす影響 ○新川猛・鈴木哲也（岐阜農技セ）	果 036 イチジク接ぎ木苗の短期育成に必要な緑枝接ぎにおける留意点 ○細見彰洋・三輪由佳（大阪環境農林水産総研）	果 055 ジベレリンとプロヒドロジャスモンの混用処理が早生および中生ウンシュウミカンの浮皮発生に及ぼす影響 ○中谷章・山田芳裕・萩平淳也（和歌山農総技セ果樹試）	野 016 間欠冷蔵処理がイチゴ‘さぬき姫’，‘女峰’の開花に及ぼす影響 ○近藤弘志[1*]・松崎朝浩[1]（[1]香川農試,[*]香川中讃農改普セ）	野 037 秋まき冬どりダイコンの栽植密度と生育速度との関係 ○草川知行・吉田俊郎（千葉農林総研セ）	野 058 パプリカ無加温ハウス栽培における栽培管理および秋期の追熟処理が収量に与える影響 ○高橋拓也（岩手農研セ）
11:30	果 016 脱渋処理に伴う渋ガキ‘太天’と‘太月’の果肉内成分の推移ならびに脱渋の特性 ○山崎安津・河野淳・東暁史・小林省藏・佐藤明彦・薬師寺博（農研機構果樹研）			野 017 間欠冷蔵処理の処理サイクルと処理回数がイチゴの開花に及ぼす影響 ○尾崎英治・吉田裕一（岡山大院自然科学研究科）	野 038 コカブ栽培における太陽熱処理による雑草および土壌病害虫防除 ○千吉良敦史[1]・高野幸成[2]・鈴木健司[1]（[1]千葉農林総研セ,[2]山武農事）	
11:45						

第 2 日　9 月 25 日（日）　10:30 ～ 12:00

G 会場 B24 野菜 IV	H 会場 B12 花き I	I 会場 B11 花き II	J 会場 B21 花き III	K 会場 A32 利用 I	L 会場 A34 利用 II	時間
野 075 メロン果実の発育と成熟にともなう糖含量の変化 ○古川一・竹浦里菜・山内麻記子・米原明奈・和田光生（大阪府大生命環境科学部）	花 013 カワラナデシコ（*Dianthus superbus*）自生種に見出された雄性不稔系統 ○千田泰義（三重農大）	花 040 スプレーギク‘セイローザ’の花芽分化・発達に及ぼす EOD-heating 処理の影響 ○道園美弦・久松完・柴田道夫・大宮あけみ（農研機構花き研）	**香り 山岸真澄** 花 066 ユリ野生種の香りに関する研究（第 1 報）ユリ園芸品種の成立に関わった野生種の香気成分の解析 ○大久保直美[1]・大石勝彦[2]・荒川克郎[3]（[1] 農研機構花き研,[2] 元神奈川フラワーセ,[3] 札幌市公園緑化協会）	利 013 高大連携園芸療法活動が参加生徒の感情変化と医療・介護経費削減に与える影響 ○小浦誠吾[1]・下東義忠[2]（[1] 九保大保健科学部,[2] 宮崎県立門川高校）	利 026 アボカド果実低温貯蔵中における脂質酸化に対する 1-MCP と低酸素気浴同時処理の効果 ○パティラナ･U.A.P.・瀬古澤由彦・菅谷純子・弦間洋（筑波大院生命環境科学研究科）	10:30
野 076 メロン果実の糖集積に及ぼすシュートヒーテイングの影響 ○加納恭卓[1]・青木祐介[1]・平田彩乃[2]・薮木啓太[2]・大和勇一[2]（[1] 石川県大生物資源環境学研究科,[2] 石川県大生物資源環境学部）	**遺伝資源・マーカー 八木雅史** 花 014 DNA マーキングによるシンビジウムの品種判別技術の開発（第 5 報） ○古川浩二[1]・岩澤洋樹[1]・阿部知子[2]・田畑哲之[3]・松山知樹[4]（[1]（株）向山蘭園,[2] 理研・仁科センター,[3] かずさ DNA 研究所,[4] 理研・基幹研）	花 041 アジサイの生育・開花に及ぼす日没時短時間加温処理の影響 ○神門卓巳[1]・道園美弦[2]・川村通[1]（[1] 島根農技セ,[2] 農研機構花き研）	花 067 日本の野生バラの香り ○岡木健太郎[1]・勝又実穂[1]・橋本勝次[1]・井上晃[1]・蓬田勝之[2]・前原克彦[3]・在原温美[3]・辻正信[4]・大久保直美[5]・御巫由紀[6]（[1] 豊玉香料（株）,[2] 蓬田バラの香り研（株）,[3] バラ文化研,[4] 浜寺公園ばら庭園,[5] 農研機構花き研,[6] 千葉中央博物館）	利 014 干し柿作りが特別支援学校生徒に及ぼす情緒的効果 ○佐伯奈美・山岸主門・松本敏一（島根大生物資源科学部）	利 027 異種細胞系で発現させたトマトの α - アラビノフラノシダーゼ / β - キシロシダーゼにおける基質特異性の解析 ○中島智広[1]・立石亮[2]・井上弘明[2]（[1] 日本大院生物資源科学研究科,[2] 日本大生物資源科学部）	10:45
スイカ他 古川　一 野 077 スイカ果実の糖集積に及ぼすシュートヒーテイングの影響 ○青木祐介[1]・平田彩乃[2]・薮木啓太[2]・大和勇一[2]・加納恭卓[1]（[1] 石川県大生物資源環境学研究科,[2] 石川県大生物資源環境学部）	花 015 東日本におけるエドヒガンの葉緑体ハプロタイプ分布 ～‘ソメイヨシノ’種子親の起源地推定～ ○齊藤ちひろ[1]・秋和森恵[1]・國分尚[2]・渡辺均[2]・安藤敏夫[3]（[1] 千葉大園芸学部,[2] 千葉大環境健康フィールド科学セ,[3] 千葉大院園芸学研究科）	**栽培・作型３ 稲本勝彦** 花 042 日没後の短時間昇温（EOD-heating）がコチョウランの生育に及ぼす影響 ○藤木俊也（山梨総農技セ）	花 068 ベチュニア花弁の糖代謝遺伝子の発現は香気成分の昼夜リズムと同調的である ○岸本久太郎[1]・中山真義[1]・安藤敏夫[2]・大久保直美[1]（[1] 農研機構花き研,[2] 千葉大院園芸学研究科）		利 028 キウイフルーツ由来アクチニジンプロモーター領域の遺伝子構造解析 ○中村拓耶[1]・立石亮[1,2]・板垣康治[3]・浅田真一[4]・青木隆[5]・渡辺慶一[1,6]・井上弘明[1,2]（[1] 日本大院生物資源科学研究科,[2] 日本大生物資源科学部,[3] 北海道文教大人間科学部,[4] 玉川大農学部,[5] 神奈川農技セ,[6] 日本大短期大学部）	11:00
野 078 軟 X 線照射花粉利用種なしスイカにおける受粉後の果実内植物ホルモン含量が結実と果実肥大に及ぼす影響 ○山根信三[1]・内田健史[1]・尾形凡生[1]・杉山慶太[2]（[1] 高知大農学部,[2] 農研機構北海道農研）	花 016 西九州でのダンギクの分布と長崎県対馬における地理的変異 ○安藤匡哉[1]・谷口彰登[1]・桑原和章[1]・神近英一[1]・松原紀嘉[2]・渡辺均[2]（[1] 千葉大園芸学部,[2] 環境健康フィールド科セ）	花 043 秋ギク‘神馬’における低コスト夜温管理の検討 ○照屋博康・中村薫・郡司定雄（宮崎総農試）	**組織培養 居城幸夫** 花 069 ウィンターコスモス（*Bidens laevis*）‘Yellow Cupid’の連続節培養による in vitro 増殖 ○細木高志・池田由紀子（島根大学生物資源科学部）			11:15
野 079 アスパラガス 1 年養成株を用いたトンネル内伏せ込み促成栽培試験と生育・収量の雌雄間差 ○浦上敦子[1]・元木悟[2]・山口貴之[3]・松永邦則[4]・國久美由紀[5]・植野玲一郎[6]・山崎篤[7]・芳賀紀之[8]・常盤秀夫[9]・山田文典[10]・酒井浩晃[2]・瀧澤民雄[11]・池内隆夫[12]・渡辺慎一[13]・新里仁克[14]・遠山智之[15]・鈴木卓[15]・小泉丈晴[16]・北澤裕明[17]（[1] 農研機構野茶研,[2] 長野野菜花き試,[3] 岩手農研セ,[4] バイオニア・エコサイエンス（株）,[5] 農研機構果樹研,[6] 北海道原環セ,[7] 農研機構東北農研,[8] 福島農総セ会津,[9] 福島農総セ浜,[10] 群馬農技セ中山間,[11] JA ちくま,[12] 香川農試三木,[13] 農研機構九州沖縄農研,[14] 沖縄農研セ,[15] 北大院農,[16] 群馬農技セ,[17] 農研機構食総研）	**遺伝子組換え 間竜太郎** 花 017 ラバンジン毛状根からの植物体再分化Ⅱ．再分化個体の特性 ○津呂正人・池戸宏行・伊藤奈々・加藤千秋（名城大農学部）	花 044 低温処理の有無および処理後の栽培温度がイキシアの小花数に及ぼす影響 ○乗越亮・新井安武・堀内悠・小池安比古・今西英雄（東京農業大農学部）	花 070 ヒメユリ（L.concolor）球根の組織培養による増殖―子球の分化・生長に及ぼすりん片分割およびショ糖濃度の影響と分割切片から得られた子球の鉢上げ後の出葉― ○河原林和一郎・山田幹也（静岡大農学部）			11:30
	花 018 効率的な形質転換キク作出技術の開発 ○鳴海貴子[1]・小田篤[2]・渡邊修一[3]・中野善公[3]・久松完[2]・深井誠一[1]（[1] 香川大農学部,[2] 農研機構花き研,[3] 農研機構近中四農研）	花 045 ハナモモ種子における流水処理と低温処理期間が種子の ABA 含量，発芽および実生の成長に及ぼす影響 ○山根健治[1]・ブラナ　チャイラット[2]・来生貴也[3]・謝肖男[3]・米山弘一[3]・八巻良和[1]（[1] 宇都宮大農学部,[2] 東京農工大院連合農学研究科,[3] 宇都宮大雑草科学研究セ）				11:45

第 2 日　9 月 25 日（日）　13:30 ～ 15:30

時間	A 会場 A21 果樹 I	B 会場 A36 果樹 II	C 会場 A37 果樹 III	D 会場 B41 野菜 I	E 会場 B33 野菜 II	F 会場 B32 野菜 III
13:30	**ブドウ等** **塩崎修志** 果 017 三倍体無核ブドウ新品種‘BK シードレス’ 若菜章[1]・比良松道一[1]・○酒井かおり[1]・花田信章[2]・福留功[2]・梶原康平[2]・深見克哉[3]（[1]九州大院農学研究院,[2]九州大農学部,[3]九州大有体物管理センター）	**リンゴ** **壽松木章** 果 037 リンゴの花芽形成と内生 9, 10- ケトールリノレン酸, *MdTFL1* および *MdFT1* 発現 キティコーン モンルディー[1]・大川克哉[1]・小原均[1]・古藤田信博[2]・和田雅人[2]・横山峰幸[3]・伊福欧二[3]・村田有明[4]・渡邊修治[4]・吉田茂男[5]・○近藤悟[1]（[1]千葉大院園芸学研究科,[2]農研機構果樹研,[3]資生堂新成長領域研開発セ,[4]静岡大院創造科学技術,[5]理研植物科学研セ）	**熱帯果樹** **鉄村琢哉** 果 056 着果位置と樹齢がマンゴスチン果実の生産性と品質に及ぼす影響 ○セティアワン　E.[1]・R. プルワント[2]・福田文夫[1]・久保田尚浩[1]（[1]岡山大院自然科学研究科,[2]ボゴール農科大農学部）	**イチゴ 6** **森　利樹** 野 018 イチゴ品種‘女峰’×*Fragaria chiloensis* CHI-24-1 の F1 系統に栽培イチゴ品種を戻し交雑した第 1 代の果実特性 ○柳智博・三谷賢広・奥田延幸（香川大農学部）	**アブラナ科栽培 2** **小原隆由** 野 039 セル内施用によるキャベツのリン酸減肥栽培技術. 第 1 報. 春播き栽培への影響 ○町田剛史[1]・岩佐博邦[1]・菊地直[2]・渡貫孝浩[3]・吉田俊郎[1]（[1]千葉農林総研セ,[2]農研機構野菜茶研,[3]ジェイカムアグリ（株））	**組織培養他** **今西俊介** 野 059 トマトの *in vitro* 全茎切断における PAL 阻害剤 AOPP による不定芽形成の促進 ○箕作和彦[*]・田中秀幸・山崎識知[**]・手塚孝弘・小田雅行（大阪府大院生命環境科学研究科,[*]奈良教育大教育学部,[**]岡山生科研）
13:45	果 018 OWAS 法によるブドウ生産現場における摘粒と剪定作業の負担計測と評価 ○Yin Yin Nwe[1]・赤川真生[2]・反田公紀[3]・丹沢隆[2]・荒木俊光[4]・遠山茂樹[5]・荻原勲[2]（[1]東京農工大院連合農学研究科,[2]東京農工大院農学府,[3]JA フルーツ山梨,[4]東京農総研セ,[5]東京農工大院工学府）	果 038 リンゴの改良ソーレン仕立てにおける SS の散布条件が樹体への付着性に及ぼす影響 ○関達哉[1]・小泉明嗣[1]・深山陽子[1]・菊地秀喜[2]・池田裕章[2]・湯木正一[3]・柴田健一郎[1]・曽根田友暁[1]・小林正伸[1]（[1]神奈川農技セ,[2]宮城農園研,[3]（株）やまびこ）	果 057 マンゴーの萌芽時における花成関連遺伝子の発現解析 ○中川正博[1]・志水恒介[2]・本勝千歳[3]・神崎真哉[1]・宇都宮直樹[1]（[1]近畿大農学部,[2]近畿大附属農場,[3]宮崎大農学部）	野 019 *Fragaria vesca* と他の *Fragaria* 属二倍体種との類縁関係に関する GISH 解析 ○新居秀将[1]・柳智博[1]・Nathewet Preeda[2]（[1]香川大農学部,[2]Fac. Agri. Maejo Univ.）	野 040 キャベツの生育における地球温暖化の影響評価（第 1 報） 冬どりキャベツで開発された生育モデルの春どりキャベツへの適用 ○太田和宏[1]・高田敦之[1]・北浦健生[1]・岡田邦彦[2]（[1]神奈川農技セ,[2]農研機構野菜茶研）	野 060 ナスの胚軸培養における PAL 阻害剤 AOPP による不定芽形成の促進 ○田中秀幸[1]・上田晴香[1]・箕作和彦[2]・手塚孝弘[1]・小田雅行[1]（[1]大阪府大院生命環境科学研究科,[2]奈良教育大教育学部）
14:00	果 019 巨峰系黒色品種のアントシアニン含量と温度が着色に及ぼす影響の品種間差異 ○宇土幸伸[1]・里吉友貴[1]・齊藤典義[2]・三森真里子[2]・小林省蔵[3]（[1]山梨果樹試,[2]山梨県庁,[3]農研機構果樹研）	果 039 リンゴわい性台木利用樹における耐凍性の季節変動と台木品種間差異 ○守谷（田中）友紀・岩波宏・本多親子・和田雅人（農研機構果樹研）	果 058 マンゴー未熟果実からの胚様体誘導及び植物体再分化 ○大西智康・大田哲史・杉田亘・前畑祐喜・長田龍太郎（宮崎県総農試）	野 020 イチゴうどんこ病抵抗性の器官別差異 ○前田ふみ[1]・磯辺祥子[2]・深見正信[1]・深尾聡[1]・石川正美[1]（[1]千葉農林研セ,[2]かずさ DNA 研）	野 041 キャベツの生育における地球温暖化の影響評価（第 2 報） 日平均気温による花芽分化期予測モデル ○高田敦之[1]・太田和宏[1]・北浦健生[1]・岡田邦彦[2]（[1]神奈川農技セ,[2]農研機構野菜茶研）	野 061 ジベレリン処理がナガイモのむかご着生量及び収量に及ぼす影響（第 2 報） ○細田洋一[1]・岩瀬利己[1]・吉田康徳[2]（[1]（地独）青森産技セ野菜研,[2]秋田県大生物資源科学部）
14:15	果 020 種子なしビワ‘希房’果実に発生するさび症状と植物成長調整剤処理後の湿度との関係 ○吉田明広[1*]・菖木康徳[1]・佐藤三郎[1]・八幡茂木[2]・佐藤侑美佳[3**]・赤山喜一郎[1]（[1]千葉農林総研暖地園研,[2]元千葉農林総研暖地園研,[3]千葉安房農振セ,[*]千葉安房農事務所,[**]千葉農林総研）	果 040 LED を用いたリンゴ果皮の着色. LED 波長と生育ステージ・貯蔵温度の影響 ○品川吉延[1]・吉村和正[2]・長山憲範[3]（[1]山口農林総技セ,[2]（地独）山口産技セ,[3]（株）長山電機産業）	**ベリー類** **渡邉　学** 果 059 キイチゴ属栽培種および野生種果実のアントシアニン含量と抗酸化能との関連 ○田中菜津美[1]・横田蘭[1]・脇田陽一[2]・伊藤祐司[3]・嘉見大助[3]・村田奈芳[3]・鈴木卓[1]・鈴木正彦[1]（[1]北海道大院農,[2]北海道林試,[3]農研機構北海道農研）	野 021 イチゴの連鎖地図作成とうどんこ病抵抗性に関与する QTL 同定 ○磯部祥子[1]・前田ふみ[2]・石川正美[2]・平川英樹[1]・白澤健太[1]・佐藤修正[1]・田畑哲之[1]（[1]かずさ DNA 研,[2]千葉研農林総研）	野 042 ブロッコリー栽培における施肥量の違いが生育と品質に及ぼす影響 近藤謙介・○小池莉紗・中田昇・山口武視・山名伸樹（鳥取大農学部）	野 062 ヤマノイモのむかごの発育に及ぼすジベレリンと添加資材の組み合わせ処理の影響 ○吉田康徳[1]・藤澤奈保子[1]・細越馨[1]・高橋春實[1]・神田啓臣[1]・西山学[2]・金浜耕基[2]（[1]秋田県大生物資源科学部,[2]東北大院農学研究科）
14:30			果 060 窒素施肥量の違いがラズベリー‘サマーフェスティバル’幼木の樹体生育・果実品質および窒素吸収量に及ぼす影響 ○上山啓一・高嶋名世瑠・大沼欣生・池田裕章・菊地秀喜（宮城農園研）			
14:45			果 061 ハスカップとミヤマウグイスカグラの種間雑種の育成：雑種個体の花および果実の特徴 ○下田真明[1]・中野英樹[2]・高橋太郎[2]・堀廣孝[2]・河合孝雄[2]・星野洋一郎[1,2]（[1]北大院環境科学院,[2]北大北方生物圏セ）			
15:00						
15:15						

第 2 日　9 月 25 日（日）　13:30 ～ 15:30

G 会場 B24 野菜 IV	H 会場 B12 花き I	I 会場 B11 花き II	J 会場 B21 花き III	K 会場 A32 利用 I	L 会場 A34 利用 II	時間
アスパラガス **浦上敦子**	**遺伝子解析 1** **鳴海貴子**	**栽培・作型 4** **乗越　亮**				13:30
野 080 アスパラガス促成栽培養成株掘り上げ後の冷蔵および乾燥処理が地下部の糖類に及ぼす影響 ○篠田光江[1]・武田悟[1]・山口貴之[2]・新井正善[1]（[1]秋田農技セ農試,[2]岩手農研セ）	花 019 次世代シーケンサーを利用したカーネーション EST の解読と SSR マーカーの検出 ○棚瀬幸司[1,*]・平川英樹[2]・磯部祥子[2]・西谷千佳子[3]・田端哲之[2]・大宮あけみ[1]・小野崎隆[1]（[1]農研機構花き研,[2]かずさ DNA 研,[3]農研機構果樹研,[*]農研機構本部）	花 046 生育中の温度と日射条件がユリ‘シベリア’の乾物蓄積と分配に及ぼす影響 ○稲本勝彦・長嘗香織・矢野孝喜・山崎博子・山崎篤（農研機構東北農研）				
野 081 高温が休眠中のアスパラガスの萌芽に及ぼす影響 ○山口貴之・高橋拓也（岩手農研セ）	花 020 イネフロリゲン遺伝子（*Hd3a*）導入キク‘神馬’における花成関連遺伝子の発現解析 ○浅尾浩史[1]・辻寛之[2]・長谷部千絵[2]・玉置祥二郎[2]・仲照史[1]・島本功[2]（[1]奈良農総セ,[2]奈良先端大バイオ）	花 047 発表取り消し				13:45
野 082 枠板によるうね上面幅の違いがアスパラガスの生育に及ぼす影響 ○池内隆夫（香川農試（三木試験地））	花 021 キクタニギクの光周期依存的な花序ならびに花器官の分化・発達と花芽形成関連遺伝子の動態 ○小田篤[1]・神門卓巳[1,2]・久松完[1]（[1]農研機構花き研,[2]島根農技セ）	花 048 植木を安全に輸出するための根の水洗・鉢上げ技術の開発 ○柴田忠裕・市東豊弘・宮崎丈史（千葉農林総研）				14:00
野 083 アスパラガスの栽培法の違いが若茎の形状および機能性成分に及ぼす影響 ○元木悟[1]・前田智雄[2]・宮野幸一郎[3]・小竹優人[4]・吉田清志[1]・五味文誠[3]・芹澤啓明[1]・北澤裕明[5]・坂崎孝志[3]・酒井浩晃[1]・中村憲太郎[1]・袖山栄次[1]（[1]長野野菜花き試,[2]弘前大農学生命科学部,[3]（株）ラプランタ,[4]長野農大,[5]農研機構食総研）	花 022 リンドウ *FT/TFL1* 遺伝子群の機能解析 ○今村智弘・中塚貴司・樋口敦美・西原昌宏・高橋秀行（（財）岩手生工研セ）	花 049 植木類の輸出に向けた効率的な育成技術の開発 ○市東豊弘・柴田忠裕（千葉農林総研セ）				14:15
	遺伝子解析 2 **久松　完**	**病害 1** **細川宗孝**				14:30
	花 023 赤白複色花ダリアから発生する単色花シュートでは葉の *CHS* 発現量が異なる ○大野翔[1]・細川宗孝[1]・星野敦[2]・立澤文見[3]・土井元章[1]（[1]京都大院農学研究科,[2]基生研,[3]岩手大農学部）	花 050 *Phytophthora* 属と *Pythium* 属による花き苗の土壌病害の亜リン酸およびバチルス菌を用いた防除法の検討 ○岩田直樹[1]・森本正幸[2]・山根健治[1]（[1]宇都宮大農学部,[2]ジャパンアグリバイオ（株））				
	花 024 液胞型鉄イオントランスポーター遺伝子を活用したチューリップ花弁特異的プロモーター領域の解析 ○荘司和明（富山農総技セ農研）	花 051 キクわい化病に対するコギクの富山県育成系統および栽培品種の発病差異 ○島嘉輝[1]・松下陽介[2]・向鳥博行[1]（[1]富山農総セ園研,[2]農研機構花き研）				14:45
	花 025 花弁特異的 InMYB1 プロモーターの花弁特異的発現誘導機構の解明．第 1 報．LFY の機能抑制によりがく化させた花弁における作動 ○東未来[1]・猫橋茉莉[1,2]・森本玲奈[1]・廣瀬真名[1]・松本省吾[1]・光田展隆[3]・高木優[3]・大島良美[3]・白武勝裕[1]（[1]名古屋大院生命農学研究科,[2]東京大院農学生命科学研究科,[3]産業技術総合研究所）	**病害 2** **松下陽介** 花 052 キクにおいてキクわい化病は種子および花粉を通じて伝染する ○服部裕美・中村恵章・平野哲司・大石一史（愛知農総試）				15:00
	花 026 トレニア表皮細胞関連転写因子遺伝子の単離および解析 ○太田己翔[*]・鳴海貴子・深井誠一（香川大農学部,[*]神戸大農学部）	花 053 大量スクリーニング法を利用したキクわい化ウイロイド抵抗性品種の探索 細川宗孝[1]・○鍋島朋之[1]・矢野志野布[2]・大石一史[3]・土井元章[1]（[1]京都大院農学研究科,[2]精興園,[3]愛知総農試）				15:15